２０２２ひまわりの夏【1】 2022.7.13.

【Photo Album】青田が広がる東播磨の田園地帯を原チャリで駆ける

小野市浄谷 ひまわりの丘 ＆ 国宝 浄土寺と差し込む西陽に輝く釈迦来迎 釈迦三尊立像
青田が広がる東播磨夏の絶景　山田錦の郷　加東・三木・淡河・丹生山山田の里景色

■２０２２ひまわりの夏　青田が広がる東播磨の田園地帯を原チャリで駆ける　2022.7.13.

◎ 小野市浄谷　ひまわりの丘 ＆ 国宝 浄土寺と差し込む西陽に輝く釈迦来迎 釈迦三尊立像

◎ 青田が広がる東播磨夏の絶景　山田錦の郷　加東・三木・淡河・丹生山山田の里景色

スライド動画　https://infokkkna2.com/ironroad2/2022htm/walk19/R0408himawari.mp4

Web File　https://infokkkna2.com/ironroad2/2022htm/walk19/R0408himawariweb.pdf

Photo Alobum　https://infokkkna2.com/ironroad2/2022htm/walk19/R0408himawariphoto.pdf

ひまわりの丘★
浄土寺★
青野ヶ原
加古川
小野市
★山田錦の郷
加東市
三木市
★山田錦の郷
三木志吉川
★山田錦の郷
三木志染川町
★.淡河の郷
三田市
丹生山麓
★.丹生山田の郷
神戸電鉄 粟生線
緑が丘
★神出
押部谷
西神中央
櫨谷
木津
★布施畑
2022ひまわりの夏 2022.7.13.
久し振りの心地よい東播磨 原付ツーリング
青田が広がる東播磨・西神戸の田園地帯
小野市ひまわりの丘・国宝浄土寺
& 山田錦の郷 加東・三木・淡河・丹生山田の郷

2022ひまわりの夏
お互い無理せず 声かけあって この酷暑の夏を乗り越えましょう
God be with You!! From Kobe Mutsu Nakanishi

「よぅ 元気か!!」
ぱっと 明るくしてくれるひまわり
うれしい ひまわりの夏到来

2022.7.13. 小野市ひまわりの丘で

2022ひまわりの夏

小野市浄谷　ひまわりの丘で　　2022.7.13.

東播磨を南北に流れる加古川に沿って東岸を北に走る国道175号沿いの小野市浄谷の田園地帯
加古川西岸の青野ヶ原・東播磨の山並を背に　国道175号に沿って広がるひまわり畑
戻り梅雨の雨上りの晴れ間　国道175号を原付で駆けて、ひまわりの明るい顔との出会いになりました。 すぐ隣　国宝釈迦三尊像のある浄土寺をたずね、帰りは東へ丘陵地に広がる田園地帯を三木へ抜ける県道をぬけ、青々と育つ酒米の稲田を眺めながら西神戸の淡河の郷に出て北側から自宅へ帰ってきました。
青々とした稲田が作る里景色も今ならでわ。
久し振りの心地よい東播磨「2022　ひまわりの夏」原付ツーリングの記録です。

2022.7.13、小野市ひまわりの丘で

2022.7.13、小野市ひまわりの丘で

2022.7.13. 小野市ひまわりの丘で

2022.7.13. 小野市ひまわりの丘で

2022.7.13. 小野市ひまわりの丘で

2022ひまわりの夏
小野市ひまわりの丘で
2022.7.13.

2022小野ひまわりの丘 2022.7.13.

2022ひまわりの夏

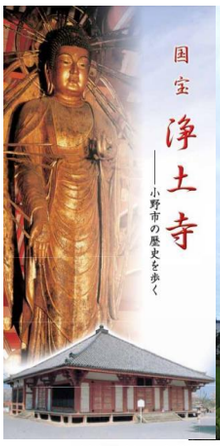
お互い無理せず 声かけあって この酷暑の夏を乗り切りましょう

God be with You!!　From Kobe　Mutsu Nakanishi

久し振りに 国宝 浄土寺　浄土堂 阿弥陀三尊立像のお参り

ひまわりの丘のすぐ南にある浄土寺の国宝釈迦三尊像を久しぶりにお参りする。
窓から夕陽が差し込んだ時の釈迦三尊像が素晴らしく、かつて何度もお堂の中で座り込んだことがある。
今日は天候不順　時折雨の舞う曇り空　どんな表情が見られるか‥‥
でも もうそれも20数年前　こんなに美しく整備されているとはびっくり。　2022.7.13.

周辺がよく整備され、外からも美しく見えるようになった浄土寺
かつては人に出会わず、お堂の鍵を貰って、ひとり中に入りよく座り込んで‥‥

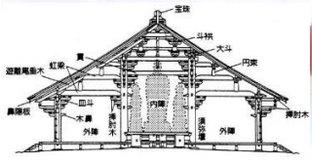


現在　一般にはお堂の内部の様子や釈迦三尊像の撮影は許されていない。
インターネットから内部の様子を示す写真を見つけましたので、コピーしました。

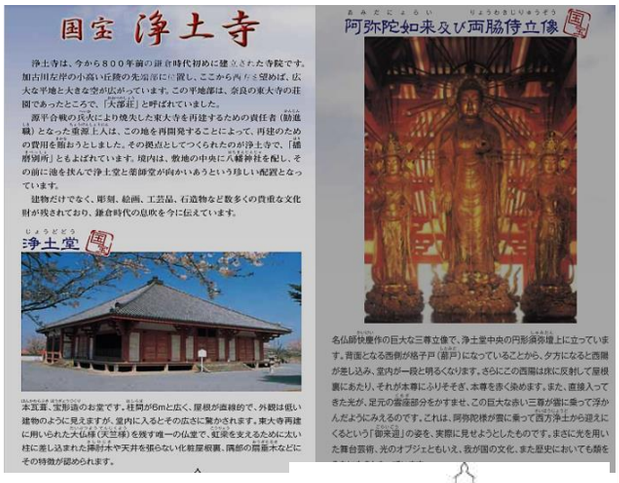
まるで「極楽浄土」背後から夕日浴び輝く阿弥陀三尊立像　国宝 浄土寺

2021.9.12.神戸新聞NEXT記事より

初秋を迎え、国宝浄土寺（兵庫県小野市浄谷町）の浄土堂にある本尊「阿弥陀三尊立像」が、背後から夕日を浴びて輝いている。同寺によると、夏から秋の彼岸ごろまでの期間に差し込む夕日で特に美しく見えるという本尊。堂内には「極楽浄土」のような荘厳な雰囲気が漂う。
寺は約８００年前の鎌倉時代初期、源平合戦の戦火で焼失した奈良・東大寺の再建費用をまかなうため、再開発の拠点として造られた。
仏師快慶による本尊は、背にした西側の格子戸から夕日が差し込むと、雲に乗って西方浄土から迎えに来る「御来迎」が再現されたように見えるという。



浄土堂は天竺様（大仏様）をほぼ完全に伝える数少ない建造物で、全国的にも貴重な遺構。
外から眺める外観は一見背が低く小さなお堂に見えるが、内部は大きな三尊像を収める空間に、まったく違和感がない。見上げる天上西方浄土からの釈迦三尊の来迎に見事な調和。三尊像の制作は同時に像を据えつつ建物を建てたようだ。天竺様と呼ばれるこの構造の見事さがあって、来迎の阿弥陀が再現されているともいえる。
堂内には円形の仏壇を構え、雲座の上に立つ巨大な阿弥陀如来迎及び両脇侍立像を配する。
西背面を蔀戸で構成し、西日を利用して来迎の阿弥陀を目の前に表現しようとしたよく計算されたお堂といえる。


国宝 浄土寺

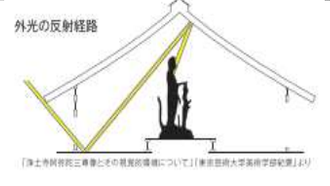
浄土寺は、今から８００年前の鎌倉時代初めに建立された寺院です。加古川左岸の小高い丘陵の先端部に位置し、ここから西方を望めば、広大な平地と大きな空が広がっています。この平地部は、奈良の東大寺の荘園であったところで、「大部荘」と呼ばれていました。
源平合戦の兵火により焼失した東大寺を再建するための責任者（勧進職）となった重源上人は、この地を再開発することによって、再建のための費用を賄おうとしました。その拠点としてつくられたのが浄土寺で、「鋳磨別所」ともよばれています。境内は、敷地の中央に八幡神社を配し、その前に池を抉んで浄土堂と薬師堂が向かいあうという珍しい配置となっています。
建物だけでなく、彫刻、絵画、工芸品、石造物など数多くの貴重な文化財が残されており、鎌倉時代の息吹を今に伝えています。

浄土堂

本瓦葺、宝形造のお堂です。桁間が6mと広く、屋根が直線的で、外観は低い建物のように見えますが、堂内に入るとその広さに驚かされます。東大寺再建に用いられた大仏様（天竺様）を現す唯一の仏堂で、虹梁を支えるために太い柱に差し込まれた挿肘木や天井を張らない化粧屋根裏、隅部の扇垂木などにその特徴が認められます。

阿弥陀如来及び両脇侍立像

名仏師快慶作の巨大な三尊立像で、浄土堂中央の円形須弥壇上に立っています。背面となる西側が格子戸（蔀戸）になっていることから、夕方になると西側が差し込み、堂内が一段と明るくなります。さらにこの西隣は床に反射して屋根裏にあたり、それが本尊に ふりそそぎ、本尊を赤く染めます。また、直接入ってきた光が、足元の蓮座部分をかすませ、この巨大な赤い三尊が雲に乗って浮かんだようにみえるのです。これは、阿弥陀様が雲に乗って西方浄土から迎えにくるという「御来迎」の姿を、実際に見せようとしたものです。まさに光を用いた舞台芸術、光のオブジェともいえ、我が国の文化、また歴史においても随



「浄土寺阿弥陀三尊像とその視覚的環境について」（東京芸術大学美術学部紀要）より

浄土堂
天竺様の内部構造の美しさや快慶作の釈迦三尊像と共に格子窓から差し込む夕日に照らされたお姿の素晴らしいことで知られる

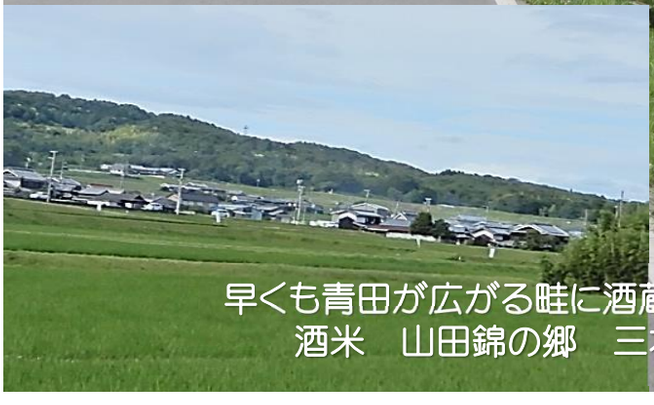
小野市観光協会
小野市の歴史を歩く「国宝 浄土寺」より
https://ono-navi.jp/ono_wp/wp-content/uploads/2016/01/jodoji.pdf

浄土寺　阿弥陀三尊立像

見上げる阿弥陀来迎　国宝浄土寺浄土堂　釈迦三尊立像

東播磨田園地帯の夏の絶景
帰りは丘陵地の間に広がる田園地帯を東へ
夏到来　青々すくすく育った稲田が広がる阿東・吉川・三木への県道を北神戸へ駆ける

帰りは丘陵地の間に広がる田園地帯を東へ　阿東・吉川・三木への県道を抜け北神戸へ
青々と育つ酒米の稲田の里景色を楽しみながら　西神戸の淡河の郷に出て
北側から自宅へ帰ってきました。
また、この辺りは「山田錦」の郷　青々とした稲田が作る里景色も今ならでわ。
緑一色の田園地帯　田のの畔には
早くも灘五郷ほか、各地の酒蔵の旗がはためき始めています。
今年もうまい酒が飲めますよう・・・・



早くも青田が広がる畦に酒蔵の旗がはためき始めていました
酒米　山田錦の郷　三木市細川町周辺で

北神戸　丹生山塊の北側に広がる淡河の郷　2022.7.13.

北神戸　丹生山塊の北側に広がる淡河の郷で　　2022.7.13.

北神戸　丹生山塊の北側に広がる淡河の郷で　　2022.7.13.

北神戸　丹生山塊の南側に広がる山田の郷で　　2022.7.13.

北神戸　丹生山塊の南側に広がる山田の郷で　　2022.7.13.

北神戸　丹生山塊の南側に広がる山田の郷で　　2022.7.13.

2022ひまわりの夏　2022.7.13.

久し振りの心地よい東播磨「2022 ひまわりの夏」原付ツーリング

東播磨を南北に流れる加古川に沿って東岸を北に走る国道175号沿いの小野市浄谷の田園地帯
加古川西岸の青野ヶ原・東播磨の山並を背に 国道175号に沿って広がるひまわり畑
戻り梅雨の雨上りの晴れ間 国道175号を原付で駆けて、ひまわりの明るい顔との出会いになりました。 すぐ隣 国宝釈迦三尊像のある浄土寺をたずね、帰りは東へ丘陵地に広がる田園地帯を三木へ抜ける県道をぬけ、青々と育つ酒米の稲田を眺めながら西神戸の淡河の郷に出て北側から自宅へ帰ってきました。 青々とした稲田が作る里景色も今ならでわ。
久し振りの心地よい東播磨「2022 ひまわりの夏」原付ツーリングになりました。

2022ひまわりの夏

お互い無理せず 声かけあって この酷暑の夏を乗り切りましょう

God be with You!!　From Kobe　Mutsu Nakanishi

北神戸　丹生山塊の北側に広がる淡河の郷で　2022.7.13.

2022ひまわりの夏 2022.7.13.
久し振りの心地よい東播磨 原付ツーリング
青田が広がる東播磨・西神戸の田園地帯
小野市ひまわりの丘・国宝浄土寺
& 山田錦の郷 加東・三木・淡河・丹生山田の郷

From Kobe　Mutsu Nakanishi

早くも青田が広がる畦 酒蔵の仕込がはじめ始めていました
酒米 山田錦の郷 三木市細川町周辺で

久し振りの心地よい東播磨「2022 ひまわりの夏」原付ツーリング

東播磨を南北に流れる加古川に沿って東岸を北に走る国道175号沿いの小野市浄谷の田園地帯
加古川西岸の青野ヶ原・東播磨の山並を背に 国道175号に沿って広がるひまわり畑
戻り梅雨の雨上りの晴れ間 国道175号を原付で駆けて、ひまわりの明るい顔との出会いになりました。すぐ隣 国宝釈迦三尊像のある浄土寺をたずね、帰りは東へ丘陵地に広がる田園地帯を三木へ抜ける県道をぬけ、青々と育つ酒米の稲田を眺めながら西神戸の淡河の郷に出て北側から自宅へ帰ってきました。青々とした稲田が作る里景色も今ならでわ。
久し振りの心地よい東播磨「2022 ひまわりの夏」原付ツーリングになりました。

■２０２２ひまわりの夏　青田が広がる東播磨の田園地帯を原チャリで駆ける　2022. 7. 13.

◎　小野市浄谷　ひまわりの丘 ＆ 国宝 浄土寺と差し込む西陽に輝く釈迦来迎 釈迦三尊立像

◎ 青田が広がる東播磨夏の絶景　山田錦の郷　加東・三木・淡河・丹生山山田の里景色

スライド動画　https://infokkkna2.com/ironroad2/2022htm/walk19/R0408himawari.mp4

Web File　https://infokkkna2.com/ironroad2/2022htm/walk19/R0408himawariweb.pdf

Photo Alobum　https://infokkkna2.com/ironroad2/2022htm/walk19/R0408himawariphoto.pdf